

【報告】

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究
「人類学におけるマイクロ・マクロ系の連関」第2回公開セミナー
「第1回 東アジア人類学研究会 研究大会」

日時：2014年7月12日（土）12時50分～18時10分

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 大会議室（303室）

参加者：44名

プログラム：

挨拶 三尾裕子（東京外国語大学 AA 研） 12:50

セッション1(13:00-14:20) 司会 小林宏至（日本学術振興会）

発表① 荒木亮（首都大学東京大学院／日本学術振興会 特別研究員(DC1)） 13:00-13:40

オブジェクト化時代のイスラームと信仰

コメンテーター：奈良雅史（日本学術振興会）、西井涼子（東京外国語大学 AA 研）

発表② 楊小平（広島大学若手研究人材育成センター 特別研究員） 13:40-14:20

日本・中国における戦争遺構のツーリズムに関する比較研究

コメンテーター：高山陽子（亜細亜大学）、栗原浩英（東京外国語大学 AA 研）

セッション2(14:30-15:50) 司会 櫻田涼子（育英短期大学）

発表③ 渡邊わか（國學院大學大学院文学研究科博士課程前期文学専攻） 14:30-15:10

宮古島狩俣の村落祭祀の民俗学的研究

コメンテーター：加賀谷真梨（国立民族学博物館）、深澤秀夫（東京外国語大学 AA 研）

発表④ 童菲（國學院大學大学院文学研究科伝承文学専攻） 15:10-15:50

中国の都市イベントに見る文化資源開発について－南京夫子廟の上元節のランタン祭りを中心として

コメンテーター：河合洋尚（国立民族学博物館）、藤野陽平（東京外国語大学 AA 研）

セッション3(16:00-18:00) 司会 高橋典史（東洋大学）

発表⑤ 馬路（神奈川大学歴史民俗資料学研究科） 16:00-16:40

中国農村における結婚の贈答に関する研究

コメンテーター：山口睦（亜細亜大学）、佐久間寛（東京外国語大学 AA 研）

発表⑥ 辺清音（総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻研究生） 16:40-17:20

「僑郷」の主体性と場所構築－広東省台山市SH村を例として

コメンテーター：稲澤努（東北大学）、真島一郎（東京外国語大学 AA 研）

発表⑦ 澤野美智子（国立民族学博物館外来研究員） 17:20-18:00

「ムビョン」、「ファッピョン」、乳がん－韓国の「オモニ」に関わる病いについての検討

コメンテーター：濱雄亮（慶應義塾大学）、河合香吏（東京外国語大学 AA 研）

閉会にあたって 西井涼子（東京外国語大学 AA 研）

内容：

基幹研究人類学班と若手研究者との交流事業の一環として、「第1回東アジア人類学研究会 研究大会」との共催で、公開セミナーを実施した。東アジア人類学研究会はこれまで若手研究者を中心に活発に活動を行ってきたが、月例会方式で行っていた研究会を本年度より年に1回研究大会方式で行うよう発展的に変更し、初回は基幹研究人類学班と共催で行う運びとなった。

当日は日本、中国、韓国といった東アジア地域の発表の他、東南アジアの発表も行われ、東アジアを事例としつつも人類学全般に関する活発な議論が行われた。若手研究者との交流という観点からみても、20代から30代の修士課程からオーバードクターの研究者が発表し、所員以外のメンターや司会者も30代以下の研究者によっておこなわれ、所員との議論により、学的な交流が可能となった。また、7人の発表者のうち4人が外国人研究者であったことは特筆すべき事柄である。

当報告の内容は著者の著作物です。Copyrighted materials of the authors.